

～インフル・コロナが猛威を振るっています～

昨年末から現在に至るまで、全国的にインフルエンザや新型コロナウイルスの感染が拡大し、近隣でも猛威を振るっています。特にインフルエンザは岩内保健所管内を含む道内19保健所管内でいまだ警報域となっており、油断できない状況となっています。詳細は3枚目にて報告させていただきますが、当施設でも年始からコロナの集団感染が起こってしまいました。日頃感染対策に努めている中でも一たび感染が発生すると防ぎきることが難しく、この度の反省を今後活かせるよう新たな感染対策の構築に努めていきたいと考えております。

2月の行事予定

--	--



2月の誕生者のご紹介

皆さん誕生日おめでとうございます。



昭和14年2月4日生まれ	86歳 ひまわりユニット
昭和14年2月10日生まれ	86歳 ひまわりユニット
昭和19年2月12日生まれ	81歳 さくらユニット
昭和18年2月15日生まれ	82歳 さくらユニット
昭和11年2月16日生まれ	89歳 ひまわりユニット
大正14年2月26日生まれ	100歳 さくらユニット

「紙面の写真・氏名についてはご本人（代理人）の方の同意を得て掲載しています」

(電話番号) 0135-71-2580 (メールアドレス) info@minorinosato.net

(ホームページ) <http://minorinosato.net>

(苦情・相談窓口担当者) 生活相談員 寺田 翔

～ユニットの様子～

コロナ対応中は居室で過ごす時間が多く、皆で活動する時間が取れませんでした
が、現在は創作活動や体操など活動を徐々に再開しています。この写真はすべて1
月31日に撮影したものです。



～施設内コロナ集団感染について～

1月5日に職員が新型コロナウイルス陽性となり、その後、同ユニットで勤務していた職員、同ユニット入居者が続々と発熱や咳・鼻水等の症状を発症する集団感染となってしまいました。また、潜伏期間中に関わりがあったと思われる他ユニットの入居者や職員にも感染が広がってしまい、結果的に全ユニットに感染が広がる集団感染となってしまいました。

感染された方の多くは、症状の出始めには38℃台の発熱と咳・痰がらみの発熱・鼻水などの症状が出て、症状は残るものの熱は数日で下がるというものでした。中には39℃台の発熱があった方、反対に37℃台の微熱で済む方もおりましたが、共通するのは咳・痰がらみ、鼻水などの感冒症状でした。

当施設では、新型コロナウイルスが5類へ移行されてからも感染対策を続けてまいりましたが、ひとたび陽性者が出てしまうと瞬く間に感染が拡大してしまうという感染力の強さを改めて見せつけられた形となってしまいました。

新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同等の5類へ移行後、一般的には2類の時に定められていた感染時の外出自粛等は求められていませんが、高齢者施設等ではハイリスク者として2類時と同様の療養期間が推奨されており、当施設としても発症後10日間が経過するまで居室で療養していただいております。また、接触を避ける等の対策も求められており、このようなことから面会制限等の対応を取らせていただきました。入居者様、ご家族の皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。2月からは面会制限を解除し、通常どおりの面会とさせていただきます(一部症状が残る方については居室対応を行うため、面会制限を継続する場合があります)。

この度の対応をする中で明らかになった反省点や問題点を共有し、次に感染者が出た際の対応に活かせるよう、感染拡大防止ができるよう取り組んでまいりたいと思います。